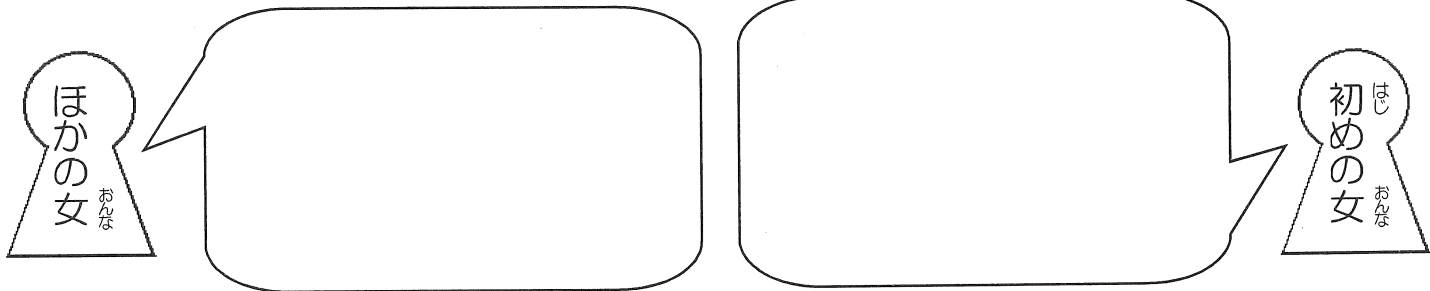


1、み言葉を書いて覚えましょう。

れつおうじょう
列王上3・28

2、聖書をよんで質問に答えましょう。(列王上3・16-28)

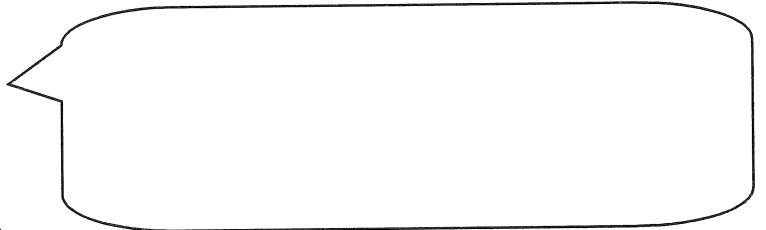
①二人の女たちは、ソロモン王の前でどのような事を言いましたか。(22節)



②ソロモン王は、どのような命令をしましたか。(25節)



③生きている子どもの母
は、何と言いましたか。
(26節)



④子どもは、どちらの子どもでしたか。○をつけてみよう。(27節)



ほかの女



初めの女

3、ソロモン王には、なぜこのような知恵があったのでしょうか。

4、あなたも、知恵が欲しいと思うことはありますか。自由に書いてみよう。

⑤ 天の神様、ソロモンに知恵を与えられたように、私にもあなたの知恵をください。アーメン。

1、み言葉^{ことば}を書^かいて覚え^{おぼ}ましょう。

れきだいげ
歴代下14・11

2、聖書^{せいしょ}をよんで質問^{しつもん}に答え^{こた}ましょう。(歴代下14・9～15)

①どのようなピンチ^{せつ}がやってきましたか。(9節)

エチオピア人^{ひと}ゼウが、

ひやくにん
・百人
いちまんにん
・一万人
ひやくまんにん
・百万人

ぐんたい
の軍隊と さんひゃく
の三百の

ばしや
・馬車
ひつし
・羊
せんしや
・戦車

ひき
を率いて

えんそく
・遠足にきた。
りょこう
・旅行にきた。
せ
・攻めてきた。

② アサ王^{おう}は、どうしましたか。(10節)

・すぐに攻めていった。

・逃げだした。

・戦いの備えをした。

・あやまった。

☆アサ王^{おう}の軍隊^{ぐんたい}は、58万人^{まんにん}でした。

③ アサ王^{おう}は、どのように祈^{いの}りましたか。3行目^{ぎょうめ}以降^{いこう}を書^かいてみよう。(11節)

3、アサ王^{おう}の祈^{いの}りをどのように思^{おも}いますか。自由^{じゆう}に考^{かんが}えてみよう。

4、あなたも、アサ王^{おう}のようなお祈^{いの}りが必要^{ひつよう}な時^{とき}がありますか。

③ イエス様^{さま}、私^{わたし}も、ピンチの時^{とき}にあなたを信じ^{しんじ}、あなたにおまかせするお祈^{いの}りができますように。アーメン。

1、み^{ことば}言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。

れきだいげ
歴代下20・15

2、聖書^{せいしよ}をよんで質問^{しつもん}に答え^{こた}ましょう。(歴代下20・13~23)

①ヨシャパテは、どんな王様^{おうさま}でしたか。お^{はなし}話^{せしよ}や聖書^{れきだいげ}(歴代下17・1-6)を参考^{さんこう}に
いくつでも書^かいてみよう。

②敵^{てき}の大軍^{たいぐん}が攻^せめてきた時^{とき}、ヨシャパテは、どうしましたか。(歴代下20・1~4)

・断食^{だんじき}して主^{しゅ}の助け^{たす}を求め^{もと}た ・逃^にげ出^だした ・すぐ戦^{たたか}いに出^でた

③神様^{かみさま}のお言葉^{ことば}(今日^{きょう}のみ言葉^{ことば})を聞^きいた人々^{ひとびと}はどうしましたか。(20・18~19)

④戦^{たたか}いの先頭^{せんとう}に立^たっていたのは、だれですか。(21~22節^{せつ})

・ヨシャパテ ・軍勢^{ぐんせい} ・預言者^{よげんしゃ} ・賛美^{さんび}する人々^{ひとびと}

3、ヨシャパテの勝利^{しょうり}の秘訣^{ひけつ}を考^{かんが}えてみよう。(ヒント：20・6、12、20)

☆ 賛美^{さんび}は、神様^{かみさま}を信^{しん}じる私^{わたし}たちの力^{ちから}です。

③ 神様^{かみさま}、自分^{じぶん}は弱^{よわ}くとも、あなたに信^{しん}頼^{らい}します。困^{こま}った時^{とき}には、お言葉^{ことば}を聞^きき、
賛美^{さんび}する者^{もの}にしてください。アーメン。

1、^{ことば}み^か言^{おほ}葉を書^かいて覚^{おぼ}えましよう。

^{れつおうげ}列王下19・15

2、^{せいしょ}聖書^{しつもん}をよ^{こた}んで質^{れつおうげ}問に答^{こた}えましよう。(列王下19・1～19)

①^{てき}敵^{ことば}の言^き葉^{とき}を聞^きいた時^{とき}、また^{てかみ}手紙^うを受^とけ取^{とき}った時^{とき}ヒゼキヤは、^{なに}何^{なに}をしましたか。

(1) 1^{せつ}節 _____

(2) 2～5^{せつ}節 _____

(3) 14～15^{せつ}節 _____

②^{てき}敵^{てき}はどうなりましたか。(19・35～37)

③ヒゼキヤは、^{いの}祈^{なか}りの中^{かみさま}で神^{かた}様がど^{ただ}うい^{おも}うお方^{おも}であるとい^{ただ}っていま^{おも}すか。^{ただ}正^{おも}しいと思^{おも}うもの^{せつ}に○をつ^{せつ}けよう。(15～19節)

・^{てん}天^ちと^{つく}地^{つく}を造^{つく}られた ・^{くに}すべての^{かみ}国^{かみ}の^{かみ}うち^{かみ}で^{かみ}ただ^{かみ}ひと^{かみ}りの^{かみ}神^{かみ}

・^み見^きる^きこ^きと、^き聞^きく^きこ^きとが^きで^きき^きる ・^{ひと}人^ての^{つく}手^{つく}の^{つく}作^{つく}った^{つく}もの^{つく}

・^{てき}敵^ての^{すく}手^{すく}か^{すく}ら^{すく}救^{すく}って^{すく}くだ^{すく}さ^{すく}る ・^き木^{いし}や^{つく}石^{つく}で^{つく}作^{つく}ら^{つく}れた^{つく}

3、^{ぜったいぜつめい}絶^{たい}体^{たい}絶^{たい}命^{たい}の大^{たい}ピン^{たい}チ！あ^{とき}なた^{とき}なら^{とき}そ^{とき}の^{とき}時^{とき}ど^{とき}う^{とき}しま^{とき}すか。

☆^{かみさま}神^{かみさま}様^{かみさま}は、^{いの}へ^{いの}り^{いの}く^{いの}だ^{いの}って^{いの}神^{いの}様^{いの}に^{いの}祈^{いの}り^{いの}求^{いの}め^{いの}る^{いの}人^{いの}の^{いの}祈^{いの}り^{いの}に^{いの}答^{いの}え^{いの}て^{いの}くだ^{いの}さい^{いの}ます。

③^{かみさま}神^{かみさま}様^{かみさま}、^{てん}天^ちと^{つく}地^{つく}を造^{つく}ら^{つく}れた^{つく}あ^{つく}なた^{つく}こ^{つく}そ、^{しはい}す^{しはい}べ^{しはい}て^{しはい}を^{しはい}支^{しはい}配^{しはい}し^{しはい}て^{しはい}お^{しはい}ら^{しはい}れ^{しはい}る^{しはい}本^{しはい}当^{しはい}の^{しはい}神^{しはい}様^{しはい}で^{しはい}す。^{とき}ピン^{とき}チ^{とき}の^{とき}時^{とき}に^{とき}は、^{いの}あ^{いの}なた^{いの}に^{いの}祈^{いの}る^{いの}者^{いの}と^{いの}し^{いの}て^{いの}くだ^{いの}さい^{いの}。ア^{いの}ー^{いの}メ^{いの}ン。

1、み^{ことば}言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。

れつおうげ
列王下22・2

2、聖書^{せいしょ}をよんで質問^{しつもん}に答え^{こた}ましょう。(列王下22・1～20)

①ヨシヤは、8才^{さい}で王様^{おうさま}になりました。それから何才^{なんさい}で、何を^{なに}しましたか。線^{せん}で結^{むす}んでみよう。(歴代下34・1～8)

(1) 治世^{ちせい}の8年^{ねん} (____才^{さい}) ☆

☆偶像^{くうそう}とその祭壇^{さいだん}を砕^{くだ}き始^{はじ}めた。

(2) 治世^{ちせい}の12年^{ねん} (____才^{さい}) ☆

☆主^{しゅ}の宮^{みや}を繕^{つくろ}わせた。

(3) 治世^{ちせい}の18年^{ねん} (____才^{さい}) ☆

☆父^{ちち}ダビデの神^{かみ}を求め^{もと}始^{はじ}めた。

②主^{しゅ}の宮^{みや}で何が^{なに}見つかりましたか。(8節^{せつ})

[]

③律法^{りっぽう}の書^{しょ}の言葉^{ことば}を聞^きいたヨシヤは、何を^{なに}しましたか。

(1) 11、19節^{せつ} _____

(2) 13、14節^{せつ} _____

- 衣^{ころも}を裂^さいた(悔^くい改^{あらた}め)
- ◆ 踊^{おど}った
- ▲ 預言者^{よげんしゃ}に使者^{しや}を遣^{つか}わした
- 破^{やぶ}って捨て^すてた
- ★ 泣^ないた

3、預言者^{よげんしゃ}を通^{とお}して神様^{かみさま}の言葉^{ことば}を聞^きいたヨシヤは、どうしたでしょうか。23・1～3、24～25 を読^よんでみよう。

☆神様^{かみさま}は、神様^{かみさま}の言葉^{ことば}を大切^{たいせつ}にし、従^{したが}う人^{ひと}を守^{まも}り祝福^{しゅくふく}してくださいます。

㊦ 神様^{かみさま}、あなたのお言葉^{ことば}を聞^きく時^{とき}、心^{こころ}から受け入^うれ、あなたを信^{しん}じてみ心^{こころ}を行^{おこな}う者^{もの}としてください。アーメン。

1、み^{ことば}言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。

れつおうじょう
列王上18・24

2、聖書^{せいしょ}をよんで質問^{しつもん}に答え^{こた}ましょう。(列王上^{れつおうじょう}18・30～40)

①エリヤが祈^{いの}る番^{ばん}になった時^{とき}、何^{なに}をしましたか。

(1)30節^{せつ}_____

(2)32節^{せつ}_____

(3)33節^{せつ}_____

☆2セヤは、15リットル。1,5リットルのペットボトル^{ぼんぷん}10本分。4つのかめ^{かい}3回^{かい}は、12杯^{はい}分^{ぶん}の水^{みず}。

②エリヤは、なぜ①のようなことをした^{おも}と思いますか。

3、エリヤは、祭壇^{さいだん}を作^{つく}ったあと何^{なに}をしたでしょうか。いくつでも選^{えら}んでみよう。

(1)火^ひがつかなかったらどうしようと悩^{なや}んだ。

(2)熱心^{ねっしん}に祈^{いの}った。

(3)あとは、神様^{かみさま}がしてくださるだろうと何^{なに}もしないでながめていた。

(4)神様^{かみさま}は、必^{かなら}ず祈^{いの}りに答え^{こた}てくださると信^{しん}じて祈^{いの}った。

(5)その他^{ほか}

☆信^{しん}じて行^{おこな}い、祈^{いの}り続^{つづ}けることが大切^{たいせつ}です。神様^{かみさま}は、エリヤの祈^{いの}りに答え^{こた}て、ご自分^{じぶん}がまことの神様^{かみさま}である事^{こと}をあらわしてくださいました。

③ 神様^{かみさま}、あなたは生^いきておられ、祈^{いの}りに答え^{こた}てくださる本^{ほん}当^{とう}の神様^{かみさま}です。あなたをいつも信^{しん}じ、祈^{いの}る者^{もの}としてください。アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

れつおうげ
列王下4・6

2、聖書をよんで質問に答えましょう。(列王下4・1～7)

① 女の人のお家には何がありましたか。(2節)

[]

② エリシャは、何をするように言いましたか。(3-4節)

(1) 隣の人々からあいた器を [・ひとつ
・たくさん] か借りなさい。

(2) [・家の中
・ひろば
・広場] で [・みんなに見えるように
・戸を閉じて] すべての器に油を注ぐ。

③ 一びんの油は、どうになりましたか。(5～7節)

④ もし器がもっとあったなら、どうなっていたと思いますか。(6節)

3、どうして、このような奇跡が起こったと思いますか。自由に考えてみよう。

☆神様は、私たちに必要なものを知っておられます。

③ 神様、私に必要なものを与えてくださることを信じ、感謝いたします。乏しいときにも、あなたに信頼する者としてください。アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

エゼキエル 37・9

2、絵をかいてみよう。

① ^か枯^{ほね}れた骨

息よ、四方から吹い
 て来て、この殺され
 た者たちの上に吹
 き、彼らを生きせ

いき
息

②生き返った人間

エゼキエル

3、 枯^かれた骨^{ほね}が生^いき返^{かえ}ることは。まず、イスラエルの回^{かい}復^{ふく}を意^い味^みしていました。
エレミヤ29・10をひらいて、たしかめましょう。



①ノバビロン捕囚^{ほしゅう}

かいふく やくそく
回復の約束
エシヤ
29・10

エレミヤ

②イスラエルの回復かいふく

4、 それは私^{わたし}たちにとっては、罪人^{つみびと}が救^{すく}われて神^{かみ}の子^ことされることを意味^{いみ}しています。


 の上に^{つみびと}罪人の^{かお}顔を、
 
 の上に^{すく}救われたあなたの^{かお}顔を^か描きましょう。

① ^{つみ} ^{ひと} ^{わたし} 罪人の私が

②^{かみ}神^この子とされる

せいれい
聖霊


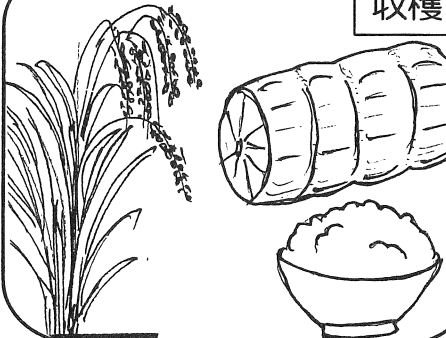
せいれい
聖霊

かみさま ぜつぼう きぼう か かいふく よげん じつげん かんしゃ
神様、絶望を希望に変える回復の預言が実現したことを感謝します。・・・
アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

詩篇 126・5

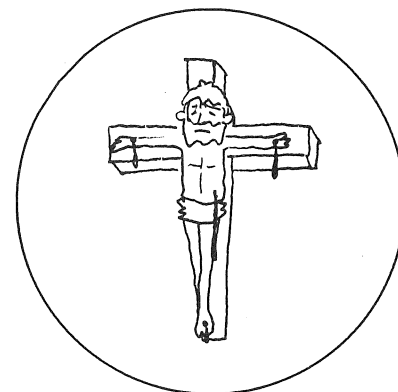
2、お米を育てる場合、どんな涙（苦労）があるでしょう。考えて書いてみよう。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">た ね 種</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">なみだ くろう 涙（苦労）</div> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">しゅうかく 収穫</div> 
---	--	--

3、人が救われる場合、私たちは、どんな涙（苦労）を流すでしょう。書いてみよう。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">た ね 種</div> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">聖書の み言葉 福 音</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">わたし なみだ くろう 私たちの涙（苦労）</div> <div style="border: 1px solid black; height: 180px; width: 100%;"></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">しゅうかく 収穫</div> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">救い 罪の許し 永遠の命 喜び、平安</p>
---	--	---

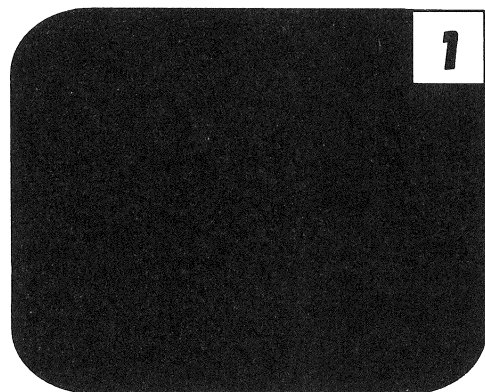
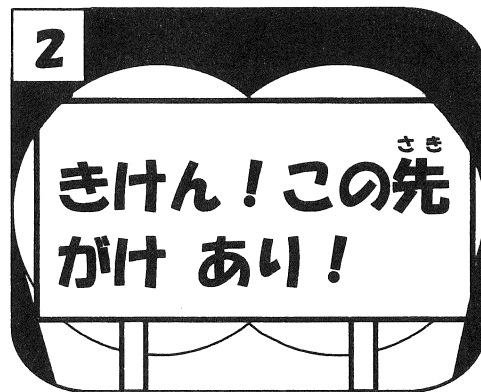
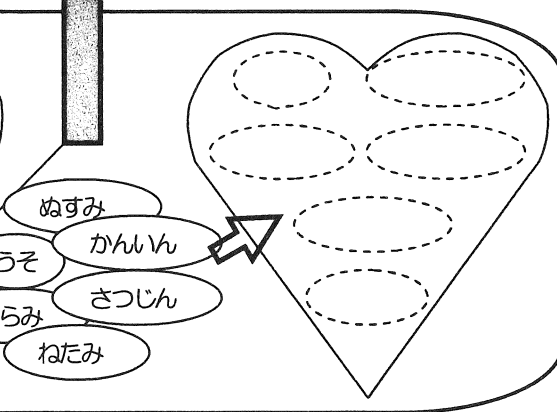
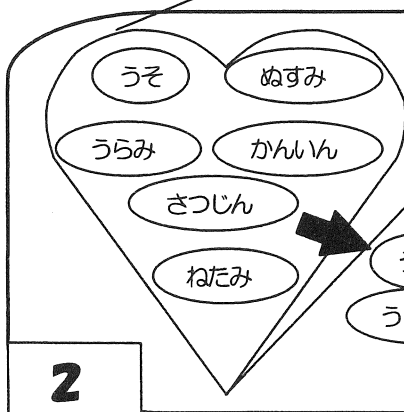
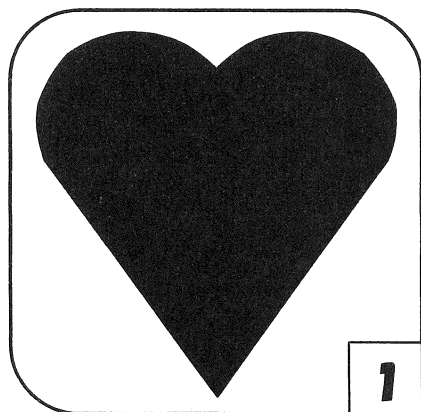
4、私たちの涙の前に、イエス様の涙がありました。
それは、どんな涙でしょうか。



5、あなたは、福音の種（み言葉）を持ってだれのところに行きますか。

1、み言葉を書きましょう。

ヨハネ 1・9

2、夜、このままで自動車^{じどうしゃ}を走^{はし}らせると、どうなるでしょう。線^{せん}でむすぼう。① ① 見えないので、
がけに落ちて死ぬ② この看板^{かんばん}を見て
とまり、助かる3、この心^{こころ}のままで生^いきるとどうなるでしょう。線^{せん}でむすぼう。① ① 自分^{じぶん}の罪^{つみ}がわかり、悔^{あらた}い改^{あらた}めて、救^{すく}われる② ② 自分^{じぶん}の罪^{つみ}のまま、欲^{よく}のままに生^いき、ほろびる4、「まことの光^{ひかり}」とは、イエス様^{さま}のことです。この光^{ひかり}は、どのようにしてあなたの心^{こころ}の状態^{じょうたい}や、行^いくべき道^{みち}を示^{しめ}してくれるのでしょうか。○をしよう。① ① 聖書^{せいしょ}の言葉^{ことば}をとおして② ② 空^{そら}から、イエス様^{さま}の手紙^{てがみ}がふってくる③ ③ 説教^{せっきょう}やクリスチャン^{あか}の証^{あかし}しをとおして④ ④ 祈^{いの}りが答^{こた}えられることによって

③ かみさま 神様、まことの光^{ひかり}であるイエス様^{さま}を信じ、聖書^{せいしょ}をよく読^よんで、そのみ言葉^{ことば}に従^{したが}っていきます。・・・ アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

ルカ 2・6-7

2、人間は、人類を救うヒーローをたくさん考えて作り出してきました。知っているものに○をしよう。→ ウルトラマン 鉄腕アトム 鉄人28号 8マン
ゴジラ 仮面ライダー スーパージェッター ガメラ スーパーマン ガンダム
マジンガーZ ○○戦隊□△レンジャー ドラえもん スパイダーマン ポケモン
ビーファイター 1000マン ……



3、ところが、神様がご計画くださった救い主は、人間が考えたものとは全く違いました。どんな救い主でしたか。〔赤ちゃん、人間、飼葉おけ、イエス様〕から選んで□に書きいれよう。

□に寝かされた、□の□として生まれた□

4、

「救い主」を送る 神様のご計画

①人間の赤ちゃんとして生まれる
イザヤ9・6

②ユダ族の家系から生まれる
マタイ1・2-3



③ダビデ王の子孫として生まれる イザヤ11・1
マタイ1・6 ルカ2・4

④ベツレヘムで生まれる ミカ5・2
ルカ2・4



マリヤもヨセフもナザレの村に住んでいたので、ふつうならイエス様はナザレで生まれたはずなんだ。でも、この時、じゅうみんとうろくをするために、ベツレヘムに旅をしなければならなくなった。ちょうどその時に、イエス様が生まれたんだよ。よげんのとおりにになったふしぎなできごとだね。

5、救い主が、きたない飼葉おけに寝かされたことは、何を意味しているでしょう。

①どんな罪人でも救われること

②十字架の死にまで従順に従う生涯を歩むこと

③罪人のあなたを救い、心の中に住んでくださること

④きたないところが好きだった

⑤ 神様、まことの希望である救い主イエス様のお誕生を感謝します。… アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

ルカ 2・11

- 2、お金もちの子〔①〕や、大会社の社長の子〔②〕は、どこで生まれるでしょう。昔（江戸時代）の人〔③〕、あなた〔④〕、イエス様〔⑤〕は、どこで生まれましたか。（ ）に①～⑤の番号を書きいれよう。

A) きれいな良い設備の病院()

B) 家畜小屋()

C) 自分の家()

- 3、普通なら、だれに誕生を知らせるでしょうか。○をしよう。

家族 王様 友だち 総理大臣 近所の人 見ず知らずの人

とお 通りすがりの人 ひと 親戚 しんせき いや 卑しく貧しい羊飼ひ ひつじか アイドル した 親しい友人 ゆうじん

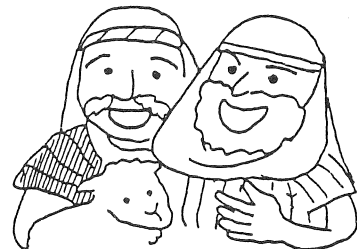
- 4、どうして神様は、大切なひとり子のイエス様の誕生を、卑しく貧しい羊飼ひに、知らせたのでしょうか。○をしよう。

① 全ての人の救い主になるため

② 心のへりくだった信仰深い人を救うため

③ この羊飼ひたちは、将来、金持ちになるから

④ あなたを救うため



⑤

かみさま 神様、あなたはすべての人を救うこと、また、この私を救うことを示すために、

いや 卑しく貧しい羊飼ひたちに、救い主イエス様のお誕生を、お知らせくださって
ありがとうございます。・・・ アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

マタイ 2・10

2、救い主の誕生を、どうしてそんなに喜んだのでしょうか。[罪・死・救]の中から選んで下の ☐ に書きいれよう。





☐ の苦しみと ☐ の恐れが、非常に大きかったので、
そこから ☐ われることを、心から強く望んでいたから

3、その喜びが、どれほど大きなものだったかを、救い主に会うために、博士たちが
払った犠牲の大きさから、考えて話し合ってみよう。

- (1) 旅にかかる時間・・・
(2) 旅にかかる費用・・・
(3) 長く旅する疲れ・・・
(4) 旅の危険・・・
(5) ささげた高価な宝物・・・

4、素晴らしい救い主の誕生も、本気で願い求めていないと気づきません。人々は救い

主の誕生をどのように受けとめたのでしょうか。あなたはどうか。線をひこう。

A  ヘロテ大王	B  祭司長・律法学者	C  博士たち	D  あなた
①自分の地位を 守るためには救 い主も殺す	②自分の罪が よくわからな いので、ピン とこない	③救い主を 熱心にさがし もとめてであ えた	④聖書を知ってはいたが、 自分は正しいと思っている ので、救い主は必要ない

③ かみさま 博士たちが、熱心に救いを求めて、救い主に会いに来たように、私も熱心に
イエス様を求めます。・・・ アーメン。

1、み言葉を書きましょう。

ルカ 2・32

2、救い主の誕生を待ち望んでいた「シメオン」というおじいさんと「アンナ」というおばあさんがいました。どんな人だったでしょう。線でむすぼう。

シメオン

アンナ

①正しい信仰深い人

②84歳の女預言者

③イスラエルの慰められるのを待ち望んでいた

④聖霊が彼に宿っていた

⑤宮を離れずに夜も昼も断食と祈りとをもって神に仕えていた

⑥主のつかわす救い主に会うまでは死ぬことはない、聖霊の示しを受けていた

3、この二人は、約束どおり救い主に会えましたか。 → はい ・ いいえ

4、私たちに与えられている神の約束はなんでしょう。□の中に[死・復活・再臨]の中から書きいれよう。

(1) 救い主イエス様によって、十字架の□と□は成就し、救いは完成しています。

(2) 将来、約束され、待ち望んでいるのは、イエス様の□です。

5、今年の感謝をしよう。神様の約束が実現したり、祈りが答えられたことはありますか。それを書いて感謝をしよう。

ワークC解説 10~12月

10/1

●第1問 聖書を開き、暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に聖書から答えます。聖書箇所が長いと思える場合は、23節以降のみの輪読でも良いでしょう。

●第3問 国を治めるため神に知恵を求め、神から与えられたから。

●第4問 自由に書いてもらいます。ソロモンの場合、国を治めるために訴えを聞き分ける知恵を求め、与えられました。利己的な思いから求めるのではなく、神と人を愛するための知恵、神と人との役立つための知恵を求め祈るようにしましょう。

10/8

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 聖書を輪読し質問に答えます。③は、暗唱聖句以降の祈りの言葉「われわれの神、主よ、…」を書きます。

●第3問 自由に考えてもらいます。

●第4問 アサ王の祈りを生活に適用するように導きます。お祈りの仕方やお祈りの内容など、祈ることについても話し合ひましょう。

10/15

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に答えます。輪読が長いと思える時は、15~23節までにしても良いでしょう。

①17章によると「アサの子。主が共におられた。神に求めてその戒めに歩んだ。国が強く立ち、富と誉れを得た。偶像を取り除いた」など。

③主を礼拝し賛美した。

●第3問 聖書講解の3つのポイントを参照。6節・神様が国を治め力ある方であることを認めている。12節・自分の無力を認め、神様にのみ寄り頼んでいる。13~20節・主の言葉を求め、聞き従った。

10/22

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に答えます。長いようであるなら、1~7節までにします。

①~(1)衣を裂いた、(2)イザヤに祈りを要請した。(3)主の前に手紙をひろげ祈った。以上のことから「へりくだり、神様にのみ答えを求める姿、祈りにこそ解決があることを確信している姿」が読み取れる。

②主の使いによって滅ぼされた。

●第3問 自分の力で解決出来る問題があり、人の助けで解決出来る問題もあるでしょう。しかし、人間にはどうすることも出来ない問題があります。絶望の中から希望を見出す秘訣は、へりくだって神に求める祈りであることを確認しましょう。

10/29

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に答えます。長い場合には、1～8節までにしても良いでしょう。

①聖書および説教例の通り。歴代下を開きます。神を求める、繕う、砕くなどの意味をわかりやすく話せるようにしておきます。

●第3問 自分が熱心に従うのみならず、国のすべての人々に主の言葉を聞かせ、ともに契約を立てた。

「律法の言葉を確実にを行うために」占い師や偶像などを取り除いた。「心をつくし、精神をつくし、力をつくし」て主の言葉に従い、主により頼んだ。このようなヨシヤ王の「み言葉への熱心、み言葉を求め服従する姿勢」に、私たちも倣いたいと思います。

11/5

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に答えます。

①～(1)こわれた主の祭壇を繕った。(2)祭壇を築き、その周囲に溝を作った。ここでかなり大きな溝であることを説明。(3)大量の水を注いだ。

②祭壇の修復は神様への悔い改め。大量の水は人手が全く入らないこと、すなわち神様にしかできないことの証明であり、神様への信頼です。(聖書講解一、二参照)

●第3問 正解は2、4。その他の意見があったら聞いてください。「火をもって答える」まことの神様は今も生きておられ、私たちの信仰と祈りに答えてくださいます。未信の生徒にとっては偶像からまことの神様への信仰のチャレンジ、既に信仰のある生徒にとっては信じて祈り続け求め続けることへのチャレンジになるのではないのでしょうか。

11/12

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に答えます。

③あいた器にどんどん注がれ、増え続け、器がなくなるまでとまらなかった。借金を返し、その後生活できるほどになった。家中に油の器が満ちている状態を生徒と共に想像してください。

④器がもっとあったなら油は止まらなかったでしょう。求め続ける信仰に神様は答えてくださいます。

●第3問 女は、理由がわからなくとも預言者の言葉(み言葉)に従いました。神様は、必要を満たして下さる方、そして、憐れみ深い方です。

11/19

●本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。

●第2問 枯れた骨と生き返った人間の絵を描きます。骸骨^{がいこつ}と自分の絵を楽しく描いてください。エゼキエルは神に命じられた預言を語っています。

●第3問 枯れた骨が生き返ることは、まず、バビロンの奴隷となったイスラエルの再建を意味しています。エレミヤ29・10を開いて確認してください。

●第4問 その回復は、現在の私たちにとっては、罪人が救われて神の子とされることです。罪人の顔と、救われた顔をハートの上にそれぞれのイメージで描いてみましょう。

11/26

●本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。

●第2問 お米を育てる場合を考えます。種はモミです。収穫は米俵に入れ、ご飯になります。涙(苦労)は、「労働の苦しさ…種まき、水やり、草取り、薬剤散布、害虫防除」と「被害…天災(水不足、日照不足)災害(台風、大風、大雨、ひょう、洪水)」などです。話し合いながら書き入れます。

●第3問 人が救われる場合、種は聖書のみ言葉、福音です。涙(苦労)は「あらゆるお世話する苦労…訪問、励まし、教え、交わり、とりなしの祈り、あらゆる配慮、そして理解されないで、誤解」などでしょう。収穫は、救いであり、罪の赦し、永遠の命、喜び、平安などがその中身です。

●第4問 私たちの涙の前に、その土台としてイエス様の十字架の涙があります。答えは「愛の涙、哀れみの涙、十字架の苦しみの涙」です。

●第5問 その結果救われた私たちは、今度はどこにその福音の種を持って行って伝えるかを、いっしょに考えましょう。

12/3

●本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。

●第2問 夜、自動車を走らせるとき、ライトをつけた場合とつけない場合を考えます。1～①、2～②とつなげます。

●第3問 罪の心の暗さと、イエス様というまことの光で心を照らされ、罪を示され、悔い改めて救われる場合のことを考えます。1～②、2～①とつなげます。

●第4問 答えは①、③、④です。

12/10

●本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。

●第2問 テレビ番組に出てくるヒーロー（正義の味方）を喜び楽しむ心の中に、本当の救い主を求めている思いがあることを話し合ってはどうか。昔なつかしいものから最近のものまで、結構、子どもたちと会話が弾むのではないのでしょうか。

●第3問 人間のイメージするヒーロー（救い主）と神様の送られた救い主イエス様との違いを確認します。答えは「飼葉おけ、人間、赤ちゃん、イエス様」の順です。

●第4問 預言成就の不思議と、肉体を持った正真正銘の人間（しかも赤ちゃん）として来られたイエス様の不思議を話し合いましょう。

●第5問 答えは、①、②、③です。

12/17

●本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。

●第2問 答えは、A)～①②④、B)～⑤、C)～③です。

●第3問 普通の場合、「家族、^{しんせき}親戚、友だち、親しい友人、近所の人」が答えとなるでしょう。

●第4問 答えは、①、②、④です。

12/24

●本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。

●第2問 答えは「罪、死、救」の順です。

●第3問 旅の時間も距離も正確にはわかりませんが、私たちが歩いて旅する限界、これまでの最長の経験を話し合いながら考えましょう。日本でも江戸時代、長旅をする場合には、再び会えないかもしれないと覚悟して旅をしました。博士たちがバビロニヤやペルシャからきたとすれば、1000～2000キロの旅となります。日本で言えば、九州から北海道へ歩いていくような距離です。

●第4問 はるか遠くから危険を冒してまで会いに来た博士たちに比べて、地元の権力者、宗教指導者は救い主を待ち望んでいなかったことがわかります。答えは、A～①、B～④、C～③、Dは②～④のどれかです。

12/31

●本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。

●第2問 答えは「シメオン」～①③④⑥（ルカ2・25～26）、「アンナ」～②⑤（ルカ2・36～37）、です。

●第3問 答えは「はい」です。

●第4問 答えは「死、復活、再臨」の順です。

●第5問 今年の感謝を話し合って書き、共に祈りましょう。